

十和田市

議会だより

No.77

11月臨時会・12月定例会



待ちわびた雪 ～そり遊び体験～

(1月5日録)／奥入瀬渓流温泉スキー場

令和5年12月22日にスキー場開きをした奥入瀬渓流温泉スキー場が多くの観光客や地元のスキーヤーなどでにぎわいをみせています。雪になじみのない他県から遊びに来た子供たちの笑顔が十和田の冬の魅力を物語っていました。

目次

議案審議の状況	2
一般質問	3
行政視察報告等	10

議案審議の状況

11月臨時会・12月定例会

令和5年第2回臨時会は、11月13日に開かれました。十和田市一般会計補正予算など、議案1件、報告1件が上程され、原案のとおり可決されました。

令和5年第4回定例会は、12月1日から12月19日まで19日間の会期で開かれました。十和田市霊園条例の一部を改正する条例の制定など、議案39件（発議1件を含む）、報告1件が上程され、原案のとおり可決されました。

一世帯当たり 5千円分の商品券を発行 **可決** (臨時会)

電気・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けている市民の家計を支援し、市内経済の活性化を図るため、市内各店舗で利用できる商品券を発行します。

- ◆商品券：一世帯当たり500円券10枚綴り
(全店共通券4枚、中小店専用券6枚)
- ◆配付方法：全世帯へ送付される引換券を持参し、市内郵便局で引換
- ◆引換・利用期間：令和5年12月20日～令和6年2月29日

合計**5,000円分**

共通券

2,000円分(500円×4枚)



大型店を含む

全取扱店で利用できる



中小店専用券

3,000円分(500円×6枚)



大型店以外の

中小取扱店のみ

サケ・ヒメマスのふ化放流経費に 緊急支援 **可決**

奥入瀬川サケと十和田湖ヒメマスの捕獲数減少により影響を受けている2漁協に対し、事業継続を支援するため、ふ化放流に要する直接的経費の一部を補助します。

- ◆補助対象者 奥入瀬川鮭鱒増殖漁業協同組合、十和田湖増殖漁業協同組合
- ◆補助金(総額) 551万6千円

調停の合意と市有財産(旧十和田市立 新渡戸記念館)の譲与 **可決**

令和2年第1回十和田市議会臨時会議案第58号をもって議決を経て提起した旧十和田市立新渡戸記念館の明渡し等を求める訴えについて、青森地方裁判所十和田支部から提示された調停条項案に合意し、同館を譲与します。

主な質疑

問 全て解決に至るのか。

答 建物については合意ということになりましたが、史料などがたくさんあり、新渡戸家の所有、太素顕彰会の所有、市の所有とあります。これらについて、今後新渡戸家と相互に立会いをしながら、区分けしていく作業が残っています。

問 史料の確定作業の見通しは。

答 議会の議決が得られた後、新渡戸家と作業のスケジュール等を話し合い、確定作業をしていくこととなります。





小山田 剛士
(黎明親和会)

一本松地区の安否確認の取組を 高齢者の多い地域に勧める考えは

様々な機会を通じて紹介していく

問 高齢者の孤独死に対する市の取組は。

答 孤独死をできるだけ防ぐため、早く異変を発見できるよう、高齢者の見守り活動に協力するあんしん見守り協力隊への登録を推進しています。現在、新聞店や郵便局、介護サービス事業所や店舗等、239団体の登録があり、通常業務の中で高齢者に関心を寄せ、見守り、気になることがあったときには、地域包括センターに連絡してもらいながら早期発見、対応に努めています。また、町内会長、民生委員、老人クラブ会員の声かけや見守りでいつもと違うと気づいたときには地域包括支援センターに相談していただき、高齢者の見守り支援に努めています。

問 一本松地区では、日本一安心なむらづくり事業として、黄色い旗を玄関先に掲げて、町内会の班長が各戸の安否確認をする取組が行われている。あくまでも安否確認の取組だが、そこで顔を合わせれば挨拶や会話にもなり、ふだんからコミュニケーションを図るきっかけになっている。コミュニケーションをいかに取っていくかが孤立を防ぐ一歩となると考えるが、この手法を特に高齢者数が多い地域に情報を提供し、勧めていく考えはないか。

答 一本松地区の黄色い旗の活動は、同じ地域に住む人たちの見守る側と見守られる側のどちらも行動を起こすことにより、タイムリーに高齢者の異変を発見することができる安否確認方法であり、孤独死に対する有効な手段の一つであると認識しています。一本松地区の活動については、地域で抱える課題の共有と地域の支え合いから、高齢者の安心感やコミュニケーションの活性にもつながる取組として、今後ほかの地域に様々な機会を通じて紹介していきたいと考えています。



山端 美樹子
(自民公明クラブ)

のづき内科小児科クリニック前の 交差点の事故防止対策は

交差点クロスマークを設置し 注意を促している

問 のづき内科小児科クリニック前の交差点の事故防止対策は。

答 十和田警察署と協議を行い、交差点内に目の錯覚により立体的に浮き出て見える交差点クロスマークを設置し、ドライバーに注意を促しています。降雪期は融雪剤散布などを行い、確認できるよう努めていきたいと考えています。

問 親子で遊べる公共施設、公園、駐車場やトイレなどが掲載された公園マップが欲しいという市民の声があるが作成する考えは。

答 新たに作成する予定はありませんが、子どもすこやか手帳に掲載の市内ご案内マップを活用していただくよう周知するとともに、更新時は、駐車場や多目的トイレの表記も含め、見直しを考えています。

問 医療的ケア児に対する一時預かりの環境は。

答 市内に未就学児を療育する児童発達支援センターが1か所ありますが、就学後の受入れを行っている施設はありません。

問 医療的ケア児の災害避難計画策定状況は。

答 市内に居住する医療的ケア児6名のうち、避難行動要支援者名簿への登録を希望する方が2名で、そのうち1名が計画策定済みとなっています。

問 医療的ケア児にとって災害時の停電は命に関わると考えるが、どのような支援を行っているか。

答 災害時は避難場所に避難するより自宅にいるほうが安全な場合もあることから、医療的ケア児のご家族に対し、発電機、蓄電池の購入について、基準額の範囲内であれば1割の負担で購入することができることを説明しています。



太田正幸
(立憲農民クラブ)

パートナーシップ宣誓制度による 行政サービス拡充の考えは

引き続き他自治体の動向を 注視する

問 多様性を認める十和田市であるべきと考えるが、県のパートナーシップ宣誓制度を活用した行政サービスの拡充に向けての見解は。

答 引き続き他自治体の動向を注視しながら、LGBTQ等の方も含め、誰もが暮らしやすい社会、住みやすいまちづくりを進めていきたいと考えています。

問 市役所機能強化や事務の効率化を図るため、組織を見直す考えは。

答 こども家庭センターの設置や、国民スポーツ大会、障害者スポーツ大会の組織体制の強化に努めていきます。

問 市の基幹産業である第1次産業への対応、アフターコロナにおけるさらなる観光産業の振興を図るため、農林商工部局の再編が必要では。

答 多くの課題があると認識していますが、各産業分野の連携強化という観点から、現在の体制で取り組んでいきたいと考えています。

問 これまでの指定管理者制度の導入効果について検証は行ったのか。

答 指定管理期間満了時に直営と指定管理のコストを比較する検証は行っていませんが、モニタリング調査を通じて指定管理者の管理運営状況を把握しながら、評価、検証を行っています。

問 指定管理者の選定基準は。

答 条例に定める選定基準の項目に基づき具体的な審査基準を定め、5段階方式で評価、採点を行っています。

問 安い指定管理料を提案した事業者が安易に選定されることがないようになっているのか。

答 費用対効果の観点による総合的な評価として候補者を選定しています。



中嶋秀一
(自民公明クラブ)

エンディングプラン・サポート 事業を立ち上げる考えは

他自治体の取組など 情報収集を進めていく

問 終活についての相談窓口の開設、情報提供、出向いての相談受付を行う考えは。

答 終活専用の窓口ではありませんが、地域包括支援センターや高齢介護課が高齢者の相談を受けており、相談者の状況に応じて面接、電話または家庭訪問等により、本人の意向を確認し、関係機関につなげるなどの対応をしています。また、エンディングノート希望者に配布しており、これまで約6,700の方に活用いただいています。終活でやるべきことは多岐にわたるため、関係機関と連携し、高齢者の終活支援の充実に向け、今後も取組を進めていきたいと考えています。

問 エンディングプラン・サポート事業*を立ち上げる考えは。

答 他自治体の取組や、葬儀社等関係者からの情報収集を進めていきたいと考えています。

*市内の協力葬儀社と生前契約して費用を預け、亡くなった後は市と協力葬儀社が連携して葬儀や納骨等を行うもの。

問 不登校児童生徒や親への相談窓口はどのようになっているか。

答 教育相談員を小学校5校、中学校4校に派遣しています。あわせて教育研修センター内に教育相談員6名体制で教育相談室「トワハート」や適応指導教室「若駒学習室」を開設し、児童生徒や保護者の相談を受けています。

問 市内全ての小中学校に特別支援学級はあるか。

答 今年度は22校中21校に設置しています。内訳は「知的障害学級」「自閉症・情緒障害学級」「肢体不自由学級」「難聴学級」「弱視学級」などです。



中尾利香
(自民公明クラブ)

消費者被害を未然に防ぐ取組は

広報等での注意喚起や 対面で啓発活動を実施

問 消費者被害を未然に防ぐため、消費生活センターでどのような取組を行っているか。

答 消費生活に関する相談に応じ問題解決のための助言等をしているほか、広報とわだでは定期的に、駒らん情報めーるでは警察や市民からの特殊被害に発展するおそれのある情報提供の際に、注意喚起をしています。また、ふるさと出前きらめき講座やコミュニティセンター祭りでの消費者団体と連携した寸劇など、対面での啓発活動も行っています。

問 市史編さんのスケジュールは。

答 令和5年度中に大まかな方向性を定める基本方針を策定します。一般的な自治体史は、編さんの方針策定、編目作成、資料調査、原稿執筆、校正などを経て3年から長くて10年以上かけて刊行されており、現在、7年後の令和12年度に刊行を終了するよう検討を進めています。

問 官庁街通りの桜の更新計画は。

答 樹木医や関係団体と相談しながら、個々の桜の状態を確認し、桜並木として全体のバランスを考慮した上で更新していきたいと考えています。

問 国指定重要文化財「旧笠石家住宅」は雨漏りがあるようだが、修繕計画はあるか。

答 茅ぶき屋根の劣化が目立ってきており、令和5年5月に文化庁の調査官や専門の業者が現地を確認のうえ改修内容等について意見交換し、対策について検討しています。ふき替えを含めた改修については、建物の耐震強度の診断、設計を含め5年程度かかると見込まれ、状況を見ながら計画的な修繕が必要と考えています。



竹島直樹
(柗の会)

税の申告にマイナポータルが 活用できることの周知を

窓口や広報等で周知していく

問 税の申告で医療費控除のため1年分の医療費を計算するのは大変煩雑だが、マイナポータルを活用すれば保険診療の分の費用が簡単に取得できる。申告時の医療費確認に関する周知はどのように行っているか。

答 窓口や申告会場にチラシを置いて周知しています。今後は、広報とわだ2月号にマイナポータルの情報を掲載するなどし、周知していきたいと考えています。また、税の申告の時に医療費の額をマイナポータルで確認する方法についても、引き続き支援していきたいと考えています。

問 若年無業者への支援のために、ひきこもり地域支援センターを設置する考えは。

答 ひきこもりの相談件数は年間7件程度で、市の相談窓口では保健師や相談員などが相談に対応するほか、県のひきこもり地域支援センターを紹介しており、引き続き相談窓口の周知を図っていきます。そのため、現時点で、市でひきこもりに対応するセンターを設置する考えはありませんが、各関係機関と連携し、相談支援体制の充実を図っていきます。

問 国民スポーツ大会に併せて全国障害者スポーツ大会が開催されるが、スポーツを行う障害者に対し今後どのような支援をしていくか。

答 令和8年に開催される第25回全国障害者スポーツ大会を好機と捉え、障害のある方がスポーツ活動に参画する機会の増加に努めるとともに、スポーツを行うために必要となるものや改善して欲しいことなどについての意見を伺いながら、スポーツを楽しめるような支援策について調査研究をしていきたいと考えています。



氣田 量子
(自民公明クラブ)

欠席連絡や配布物の確認ができる
アプリを導入しては

各学校に提供できるよう取り組む

問 学校への欠席連絡や学校だよりなどの配布物の確認ができるアプリを導入する考えは。

答 市公式LINEの活用の可能性を含め検討を進めており、保護者の利便性と教員の業務効率向上を図る方法の一つとして、各学校に提供できるよう取り組んでいきます。

問 市公式LINEは若い人に受け入れられやすいと考えるため、若い人の目につきやすい保育園やスーパーなどへのチラシ設置やポスター掲示をしてQRコードを目につくようにするとか、少し工夫をして周知を図ってほしいと考えるが、現在の登録者数、周知方法は。

答 令和5年11月末現在で1,019人で、周知については、ホームページや広報に掲載、YouTubeへの動画投稿、各窓口、関連施設にチラシ設置などにより登録促進に取り組んでいます。

問 市公式LINEを使って気軽に相談できるようにしては。

答 各種相談先を探しやすくするなど機能の追加や画面構成の見直しなどの改善に努めていきたいと考えています。

問 認知症基本法の成立を受けて、認知症の人だけでなく、市民一人一人が我が事として捉えていくことが必要と考えるが、どのように普及啓発に取り組んでいくのか。

答 今までの認知症という病気の知識に加え、認知症の人を正しく理解することが必要と認識しています。そのため、認知症当事者の方の講演や認知症カフェ等に参加している認知症当事者の声を認知症サポーター等養成講座の内容に反映するなどして、認知症に関する理解が進むよう様々な機会を捉え普及啓発に努めていきます。



斉藤 重美
(自民公明クラブ)

熊の被害の通報から
捕獲までの手順は

現地を確認し熊によるものと
判断した場合に箱わなを設置

問 直近3年の熊の出没件数とその目撃場所は。

答 令和3年度は22件あり、その目撃場所は観光地で7件、農村部で15件でした。令和4年度は19件あり、観光地で11件、農村部で8件、令和5年度は11月末現在で56件あり、観光地で17件、農村部で39件でした。

問 熊による被害状況は。

答 人的被害は令和3年度から令和5年度までの期間を含め、発生していません。農作物の被害額は、いずれの年度も自家消費作物が主な被害であり、県に報告する単位を満たすことのできないごく僅かなものとなっています。

問 熊の被害の通報から捕獲までの手順は。

答 十和田市鳥獣被害対策実施隊が現地を確認し、熊によるものと判断した場合には、速やかに箱わなによる捕獲を実施しています。

問 熊の駆除頭数は。

答 令和3年度は16頭、令和4年度は18頭、令和5年度は11月末現在で27頭となっています。

問 子実用トウモロコシの生産は、水稻や大豆などと比較して面積当たりの労働時間が極めて小さく、労働生産性が高く、輪作作物に取り組むことで連作障害も回避できる。作付推進を促す考えは。

答 作付によるメリットもあり有効な作物として捉えています。しかしながら真空播種機や収穫時に使用する汎用コンバインのような専用の機械が必要となり、多額の初期投資を要すること、買取価格が安価で、水田活用の直接支払交付金に頼らなければ、主食用米と同等の収入を得ることができないという課題があること、現在農業者からの問合せや相談がないことなどから振興作物としては考えていません。



山 端 博
(明政一心会)

経済的に子供を望みづらいとの 声があるが対策は

保護者の負担軽減を図る 各種支援策を実施

問 金銭的な問題で子供を望みづらいとの声があるが、どのような対策を講じているか。

答 市独自の取組として、令和5年10月から実施した18歳までの子供の医療費の完全無償化や3歳未満児保育料の約10%軽減、中学生までの子供と妊婦に対するインフルエンザ予防接種費用の助成、出産時のとわだde子育て応援ギフト券の給付や股関節脱臼検査や新生児聴覚検査費用の助成など、保護者の負担軽減を図る各種支援策を実施しています。

問 信号機の無い横断歩道における歩行者優先の啓発活動の実績は。

答 新入学児童が通学する季節に広報とわだで呼びかけるとともに、車の後部に貼るマグネット式ステッカーを作成し、希望する市民へ配布するほか、市内介護事業者にも配布し、車への掲示を依頼するなどの取組を進めました。

問 冬期間の対策は。

答 冬期間は積雪や降雪により視界が悪くなり道路標識や歩行者の存在が確認しにくくなる場合があります。運転手に対してはスピードの抑制や道路標示への留意、歩行者に対しては横断歩道を渡る際の意思表示、反射材の活用をすることについて、ホームページなどで周知に努めています。

問 市内中小企業では求人を出しても応募が来ない等、労働者不足の問題が慢性化しているため、商工会議所等に各産業の実態や意向の把握についての調査業務を委託しては。

答 商工会議所に確認したところ、ニーズが多様になるため、調査による効果が生かせる状況にないとの回答を得ています。



山 田 洋 子
(柊の会)

温泉の掘削候補地調査の状況は

現地測定を終え解析作業中

問 温泉の新規掘削事業の掘削候補地調査の状況は。

答 現地の測定作業を10月末に終え、解析作業を行っています。令和6年1月に中間報告を受け、温泉施設の更新の方向性について、令和6年2月の温泉運営委員会で審議する予定です。

問 令和4年10月に猿倉温泉からの温泉引湯管の湯温低下対策として保温材の巻付けをしたが、冬期間は山間部に人が入れないため、リアルタイムで温度や温泉管の状態などを計測できるシステムを導入する考えは。

答 冬期間の温度測定の方法について、委託業者と検討していきたいと思います。

問 奥入瀬溪流温泉スキー場の管理棟の建設工事の進捗状況は。

答 建物周辺を仮囲いし、基礎の地盤改良工事を進めています。積雪に伴い現場作業を一旦停止し、春の雪解けに合わせ作業を再開し、令和6年12月の供用開始を目指しています。

問 創業支援や観光人材育成のための取組は。

答 観光事業経営の希望者に対し、専門家による創業相談ルームの開設や創業セミナーの開催、空き店舗等の活用への補助等により支援をしています。

問 観光に精通した職員を育てるため、職員を県や他地域のDMOへ派遣したり、民間に出向させたり、または、県などから職員を派遣してもらうといった、人材育成をする考えは。

答 観光人材の育成は大事なことであり、観光客増加に伴う受入れ体制整備のため、国の制度なども活用できるか研究しながら進めていきたいと思っています。



久慈年和
(立憲農民クラブ)

中央病院看護師の前後する 休憩時間の改善を

患者相手の業務であり
一斉の休憩は難しい

問 現在の中央病院の看護師数は。

答 令和5年12月1日現在、291名が在籍しており、うち21名が育児休業等を取得し実働人数は270名です。

問 看護師の労働時間と全日勤務の場合の休憩時間は。

答 3交代制を基準とし、午前8時30分から午後5時までの全日勤務、午後4時30分から午前1時までの準夜勤務、午前0時30分から午前9時までの深夜勤務のシフトとなっています。全日勤務の場合の休憩時間は、午後0時15分から午後1時までですが、患者への対応により、時間どおり休憩をとれず、前後して取得する場合があります。

問 休憩時間を適切に取れるよう改善をお願いしたいが、休憩を前後して取ることが恒常的になっていないか。

答 患者相手の業務であり、外来で待たせたままや容体急変対応時に一斉に休憩を取ることが難しく、時間差で休憩を取ることが多い状況となっています。

問 国が令和5年11月に公表した令和4年度の学校保健統計調査の結果で、視力1.0未満の小中高校生の割合が過去最高を更新した。市内の小中学校の児童生徒の視力の低下はないか。

答 令和4年度における裸眼視力1.0未満の割合は小学校で40.9%、中学校で41.8%と小中ともに前年度より少なくなっており、県平均の小学校46.2%、中学校61.7%より良い状況です。

問 視力低下の要因としてタブレット端末の使用も一因と考えるが、学校での平均使用時間は。

答 令和4年度の学校での1日の平均使用時間は、小学校で21.4分、中学校で32.9分です。



今泉信明
(立憲農民クラブ)

新型コロナワクチン接種は 令和6年度からどう変わるか

対象者を絞り個人の重症化
予防目的の定期接種に

問 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は、令和6年度からどう変わっていくのか。

答 先般国において取りまとめられた令和6年度以降の新型コロナワクチン接種の方向性についての主な内容は次のとおりです。

①まん延予防上緊急の必要がある状況にはないと考えられるため、特例臨時接種を令和5年度末で終了した上で、個人の重症化予防を目的とした定期接種に変更する。

②対象者は、季節性インフルエンザワクチンの接種対象者と同様に、65歳以上の高齢者と一定の基礎疾患を有する60歳から64歳までの者とする。

③接種タイミングは、秋冬の年1回とする。

④用いるワクチンの種類は、流行の主流であるウイルスの状況などを踏まえた上で検討し、当面の間、毎年見直すこととする。

以上を踏まえ、市では今後法令改正の正式決定後、詳細な内容が分かり次第、令和6年度の接種に向けた準備をしていきたいと考えています。

問 新型コロナワクチン接種専用の相談窓口を設置する考えは。

答 現在のところ予定していませんが、市民からの相談に対して担当課で対応していきます。

問 医療、救急、介護施設等のデイサービス、保育園などに勤務している方への新型コロナワクチン接種の費用助成をする考えは。

答 令和6年度以降の新型コロナワクチン接種の対象者は65歳以上等の方で定期接種として実施され、対象とならない方については任意で接種していただくこととなります。勤務している多くの方は任意接種となり、現時点では市の費用助成は考えていません。



小笠原 良子
(日本共産党)

小中学校の女子トイレ個室に 生理用品の常備を

保健室での無償配布を継続する

問 生理用品を小中学校の女子トイレの個室に常備する考えは。

答 トイレの個室に、保健室で心配なことを気軽に相談できることや生理用品が無償配布されることを掲示しており、今後も児童生徒の心身の健康状態を丁寧にケアする体制を継続します。

問 全ての3歳未満児の保育料を無償化する考えは。

答 市独自の取組として、令和5年度からこれまでの保育料を約10%引き下げ、保護者の経済的負担の軽減を図っています。無償化は恒常的な財政負担などの課題を整理、検証する必要があることから、総合的に判断していきたいと考えています。

問 給食に地元の有機米を利用する考えは。

答 現時点で地元産有機米の確保は見通せず、利用は難しいと考えています。

問 新聞報道によると、(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業に市は賛成との立場にあるようだと言われているが真偽は。

答 事業者に対し、まずは親会社の汚職事件に関する事項、六ヶ所村での風車倒壊事故の原因等について市民に丁寧に説明するように伝えており、市民の理解が得られることを最優先として事業者働きかけていきたいと考えています。

問 新型コロナワクチン接種の後遺症の健康被害救済制度の申請、認定、死亡に関わる件数は。

答 これまで予防接種法に基づく健康被害救済制度の申請書の受理件数は3件、認定件数は3件、うち死亡一時金に関わる件数は1件です。



戸来 伝
(柵の会)

サケマス・ヒメマスの養殖事業 に対する支援は

緊急的な財政支援を 行うことを考えている

問 サケマス・ヒメマスの養殖事業に対して、どのような支援を考えているか。

答 サケについては県知事に事業の体制や連携強化などを要望しました。また、奥入瀬川鮭鱒増殖漁業協同組合と十和田湖増殖漁業協同組合に対し、緊急的な財政支援を考えています。

問 指定管理者制度は選考の方法や審議の過程が不透明で不適切であると思うが、藤坂小学校仲よし会と市民文化センターの指定管理者の選考の経緯は。

答 令和5年4月から6月にかけて施設の担当課で選定方法や業務基準書、募集要項等を検討、作成し、その内容を選考委員会で審査、決定しました。その後、指定管理者の候補者を公募したところ、8月までにそれぞれ2事業者から応募がありました。各事業者から提出された事業計画書等とそれを踏まえて施設の担当課が作成した意見書を参考に、各選考委員が審査、採点し、11月の選考委員会で、採点を集計した結果を基に審議を行い、その結果を市長に報告し、市長の決裁で指定管理者の候補者を決定し、今定例会に議案として提案しています。

問 市職員の時間外勤務が多い方から5人の年間の時間数は。

答 令和4年度で多い順に、833時間、646時間、629時間、511時間、460時間です。

問 市長が適切な人員を配置して時間外勤務を少なくさせることが職員の健康管理にもつながると思うが、対応する考えは。

答 適切な人員の配置をしても、大幅な縮減にはなりません。時間外勤務の多い部署では、様々な取組をして時間短縮のため努力しています。

『議会改革特別委員会』中間報告

○議員定数について

定数を2人減らし20人にすべき、4人減らし18人にすべきとの意見に分かれたため、採決を行った結果、賛成多数で、令和8年12月改選から2人減らし20人にすべきとする結論に至りました。

今後は、委員会構成等の協議を進め、市議会議員定数条例等の関係例規の改正について検討を進めます。

○議案に対する賛否の公表について

全会一致で議案に対する議員ごとの公表を行うこととしました。

今後は、具体的事項について協議します。



行政視察が実施されました

視察報告書は、市ホームページでご覧いただくことができます。



議会運営委員会

- ・視察期間：令和5年11月8日～10日
- ・視察地及び視察事項
北海道登別市

議員による中高生向けの出前授業、子育てや介護中の議員に配慮したオンライン会議など市民参画や多様性を重視する取組について

北海道小樽市 議会活性化推進会議について

観光建設常任委員会

- ・視察期間：令和5年11月16日～17日
- ・視察地及び視察事項

群馬県桐生市 空き家対策の取組について
群馬東部水道企業団 水道事業広域化について
官民連携について

～民生福祉常任委員会所管事務調査報告～

今年度の市民との意見交換会で「児童館等の整備」について市民から意見が出されたため常任委員会で調査しました。

児童館の新設は財政的に難しいため、既存の地域資源や国・県等の事業を有効活用し、さらには教育部門との連携をより活発にして地域における子供の居場所づくりを支援していただきたいと意見集約しました。

請 願

採択となりました

○市道川端高田線(路線番号2027)の道路拡幅
工事に関する請願
(請願者)

- ・高田町内会 会長 高淵 峰子
- ・大畑野町内会 会長 高淵 一男

編 集 後 記

昨年の1月から議員の任期が始まり、この1年間で4回の定例会が行われ一般質問に登壇する人数は平均すると1回当たり15人にもなります。定数に対し7割の議員が質問していることになり、他市町村に比べても多い数字で、十和田市議会議員が活発に活動していることの表れだと思います。

現在、議会改革特別委員会では議員定数削減に向け話し合いが行われております。

来年度も議会だより編集を頑張りますので楽しみにしててください。

(文責 竹島 直樹)

議会だより編集委員会

委員長 中 嶋 秀 一 副委員長 小山田 剛 士
委員 山 端 美樹子 委員 太 田 正 幸
// 竹 島 直 樹 // 中 尾 利 香
// 山 端 博 // 氣 田 量 子

令和6年第1回定例会の開催予定

- 2月26日(月) 本会議 (開会)
- 3月 8日(金) } 一般質問
- 11日(月) }
- 13日(水) }
- 3月21日(木) 本会議 (閉会)

予算審査特別委員会

3月15日(金)、18日(月)

- ※会議の開始はいつでも午前10時からです。
- ※各常任委員会の開催予定日は未定です。
- ※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

